

令和3年度筑波大学山岳科学センター機能強化推進費（〇〇研究）報告書

1. 課題名 : 欧米に侵入したササ・タケ寄生性ハダニ類の生物的防除に向けて
2. 代表者名 : 佐藤 幸恵
3. 参画者名 : 松本 尚樹
4. 研究・事業の目的

現在私たちが抱える重大な環境問題の一つに外来種問題がある。北アメリカ原産のオオブタクサが日本の生態系かく乱や人間の健康被害といった問題を引き起こしているなど、海外から日本に持ちこまれた生物の悪影響が頻繁に取り沙汰されている。一方、日本から持ち出された生物が海外にて問題となっている事例も少なくない。ササ・タケ類に寄生するダニ目ハダニ科に属するスゴモリハダニ類はアジア固有種であるが、アジア風ガーデニングの流行のために中国や日本から輸出されたササ・タケ類にまぎれてもちこまれ、欧米での大発生や分布拡大が報告されている。日本や中国ではスゴモリハダニ類に特化した天敵がいるため、本ハダニ類は爆発的に増えることなく制御されている。そのため、欧米でのこれ以上の分布拡大を阻止するにあたって、これら天敵の導入が考えられる。しかし、侵入害虫防除目的であっても、安易に外来種を導入することには大きなリスクが伴い、新たな外来種問題を引き起こす可能性がある。そこで本研究では、定着リスクの低さが確認されていて、ハダニ類や微小昆虫を対象とした農業害虫防除目的に既に世界各国で輸入・販売されている生物農薬（天敵）を利用したスゴモリハダニ類防除手法の確立を最終目的とした。

5. 研究・事業の成果の概要

2022年2月に追加募集により採択された研究課題である。現在、事業計画にそって研究をすすめているところであり、報告できる成果はまだえられていない。

6. 研究業績・事業実績

上記、成果同様の理由により、報告できる業績はまだない。

7.

収支

配分決定額	実支出額の使用内訳				
	物品費	旅費	人件費・謝金	その他	合計
円	300,000円	0円	0円	0円	300,000円
備考					

主要な設備備品明細書（一品又は一組若しくは一式の価格が10万円以上のもの）					
設備備品名	仕様（型式等）	数量	単価（円）	金額（円）	備考